

令和3年度第1回保健所運営協議会 質問等について

議事

1 協議事項

(1) 初期救急医療体制における小児科の診療時間の変更について

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・変更案もよい方法と考える。・さらに負担軽減を図るために二次医療機関等に開業医等が参集して診療を行う。(開業医等の派遣により市立旭川病院で行う) <p>土曜日:13時～17時, 18時～22時 休日 : 9時～17時, 18時～22時 平日 :19時～22時(現行どおり) 医師の負担を極力軽減する。医療機関の医療従事者の負担軽減も含む。</p>
回答
<ul style="list-style-type: none">・いただいた御意見につきましては、今回の変更案に御賛同いただけたものと考えております。また、今後、事業を進める上での参考とさせていただきます。

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・小児科以外は診療時間の変更はありませんか。・どのくらいの周期で当番が回ってくるのですか。・協力しない病院はあるのですか。・パブリックコメントはこの協議会で公開しないのですか。
回答
<ul style="list-style-type: none">・他の診療科については、診療時間に変更はありません。・土曜及び休日等における本年度の小児科の1当番医療機関当たりの回数は7.56回の見込みです。・スタッフ不足などにより、当番医制度に協力いただいているのは、すべての医療機関ではありません。・パブリックコメントの実施結果については、既に令和3年9月1日から、市のホームページ等で公表しております。

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・現在コロナ禍であり、医師の高齢化、新規開業医が増えないという理由で時間の変更等を行うことには賛成です。1時間の診療時間の短縮に不安を感じる市民の皆様もいらっしゃると思いますが、24時間体制の二次救急医療は変わらないため、安心して生活することができると考えます。・高齢化が一層進むことが予想されますので、さらに短縮されないことを心から期待いたします。
回答
<ul style="list-style-type: none">・いただいた御意見につきましては、今回の変更案に御賛同いただけたものと考えております。引き続き医療体制の確保に努めてまいります。

2 報告事項

(1) 保健所全般

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・「事業見込額」とありますが確定額ではないのですか。・「事業費」とありますが予算のことですか。
回答
<ul style="list-style-type: none">・議会で議決され、確定額(決算額)となります。現在はまだ議決されていないので見込額としております。・事業費は予算額です。

(2) 医務薬務課

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・立入検査や実地指導の件数が前年度と比較して激減していますが、新型コロナウイルス感染症の関係で手が回らなかったということなのでしょうか。
回答
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の市内の発生状況を鑑みて、医療機関等への立入りは感染拡大のリスクを有することなどから、病院については立入検査を中止し書面による方法で確認し、薬局等については実施件数を絞って実施し、介護保険施設等の実地指導については中止したため、件数が減少しております。

(3) 健康推進課

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・3障害の中で精神障害の支援は、まだ同列にはなっておりません。旭川精神障害者家族連合会は、現在、医療費助成と交通運賃割引の運動を進めています。・精神障害者の支援が遅れるのは周囲の長年にわたる病気への理解不足と間違った解釈の蓄積によるものだろうと考えます。・国や地方行政機関には、地域の人々が精神の病気を正しく理解されるような働きかけをお願いしたいです。そして1日も早く、せめて3障害同列になることを望んでいます。
回答
<ul style="list-style-type: none">・福祉保険部障害福祉課では、令和2年度に旭川市自立支援協議会内に「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場」を設置しており、今後、本市の精神保健・医療及び障害福祉サービスに係る実態把握や地域アセスメント、目標設定などを行う予定としています。・保健所では、精神疾患で入院した方を対象に入院医療費の一部を助成し、治療の徹底と社会復帰の促進を図っているほか、精神科医や保健師が精神保健に係る相談に対応しています。・保健所に事務局を置く旭川精神衛生協会では、精神保健に関する講演会やボランティア養成講座の開催等普及啓発活動を継続して実施しており、さらに今年度は精神保健北海道大会を旭川市で開催し、精神保健福祉に関する正しい知識の普及や障害を持った方の自立と社会参加を進める機会としています。・今後におきましても、精神疾患・精神障害者に関する地域住民の理解の促進を図り、全ての地域住民が心豊かで安心した暮らしが実現できるよう普及啓発事業に努めてまいります。

質問・意見
<ul style="list-style-type: none"> ・市民委員会女性部でも協力して取り組んでいる健康推進事業ですが、どの地域も高齢者が多く、住民の利便性を考え、会場の選定していただいているのですが、参加者が減少化傾向になってきていると思います。しかしながら、このまま事業を長く続けていただきたいと思います。
回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・市民委員会女性部の皆様には、長年にわたり、検(健)診に係る町内会の回覧等の健康推進事業に御協力いただき、深く感謝申し上げます。 ・御指摘のとおり本市も高齢化が進んでおり、また、豪雪地域という地域性や、今般の新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発出など、気軽に外出することが困難な状況ではありますが、健康推進活動は継続していくべきものと認識しております。 ・こうしたことから、保健所では在宅でも楽しく健康づくりを続けていただけるよう、健康マイレージ事業の継続や、市民委員会を始め地域住民の御協力をいただきながら検(健)診事業を実施し、市民の健康推進の一助となるよう、引き続き取り組んでまいります。

(4) 衛生検査課

質問・意見
<ul style="list-style-type: none"> ・温泉利用施設が8に対して監視件数が9なのはどのようにしてでしょうか。 ・衛生害虫とはどういう害虫なのでしょうか。
回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の温泉施設監視については、2回立入りを行った施設が1カ所あったため、8施設に対し監視件数は9件としています。 ・衛生害虫とは、人の健康を損なう事態を生じさせるおそれのある病原微生物を媒介するゴキブリ、ハエ、蚊、ノミ、シラミ、ダニ等です。

(5) 新型コロナウイルス担当

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・24時間受付の電話相談を利用したことがあります。雑に扱われました。どういった方が電話に対応しているのでしょうか。・私の子どもの接種券が届き、かかりつけ医に電話したところ、その当時ワクチンの供給の見通しが立たないことから予約を受付られないとのことでした。また、予約サイトは全くつながらない状況でした。とりあえず接種券を発送しているということなんでしょうか。
回答
<ul style="list-style-type: none">・本業務につきましては、業務内容から看護師が対応することが適当ですが、市内には看護師による24時間対応可能な業者がないことから、対応可能な業者に業務委託し、市民の皆様からの健康相談や有症者の受診等に対応しております。今後は丁寧な対応を心掛けるよう指導してまいります。・旭川市では65歳以上の高齢者への新型コロナワクチン接種の目途が立つ7月中にその下の年代の方への接種を開始する予定でしたが、国から供給されるワクチン量が大幅に減少したため、接種スケジュールの変更を行い、接種人数の抑制や予約の延期等を行いました。国からは接種体制や高齢者への接種状況に応じて接種券を発送するよう指示されており、旭川市も接種スケジュールの変更があったところですが、職域接種や市外での接種が行われることで一般の方でも接種券を早期に必要とするケースがあったことから、7月から接種券の発送を開始いたしました。・その後、国からのワクチン供給の見通しが立ったことから、基礎疾患がある方は8月24日から、基礎疾患がない60歳から64歳の方は9月7日から予約受付を開始しており、9月21日からは全ての年齢を対象に接種の予約が可能になります。・また、各医療機関においては、対象や人数をそれぞれ設定して接種を行っています。

質問・意見
<ul style="list-style-type: none">・自宅療養が増えないことを願っています。
回答
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症患者の入院については、重症化リスクの高い方や医師が入院を必要と認める方を対象とし、医療提供体制を確保しているところです。・入院治療対象にならないの方は、原則として宿泊施設での療養となりますが、宿泊療養施設に空きがない場合は、一時的に自宅待機となることもあります。・その場合には、速やかにパルスオキシメーターを配付し、毎日の健康観察で容態の変化を把握したり、薬剤師会の協力のもと基礎疾患のある方へ薬の処方を行うほか、希望者には食料や日用品等の「自宅療養セット」を配付するなどの対応をしております。・また、症状の悪化が見られる場合には、昼夜土日を問わず保健所による受診や入院調整を引き続き行ってまいります。

質問・意見

・感染率が上がってきていること、デルタ株に置き変わりつつあることからワクチン接種をスムーズにしてほしい。

回 答

・保健所といたしましても、新規感染者が増加し、変異株への置き換わりが発生していることから、新型コロナワクチン接種を速やかに進める必要があると考えています。
・ワクチンを確保しながら、より多くの方に接種いただけるよう努めてまいります。

質問・意見

・スタッフの方の負担が非常に高いと存じます。担当者のケア方法も御検討いただければ幸いです。

回 答

・新規感染者の増加に伴い、保健師を中心に負担が増加しているため、事務職との役割分担を図りながら、保健所本体のみならず全庁的な応援体制の中で、保健師及び事務職の応援を受け、保健師が疫学調査に専念できる環境を整えているところです。
・また、各職員が確実に休暇を取得し、心身ともに健康に業務を遂行できるよう、適切な人員配置を行っております。
・コロナ禍終息が不透明な中、今後も臨機応変な対応ができるよう体制整備を検討してまいります。

質問・意見

・感染者が増加するにしたいがい自宅待機者の数が増加しているのが気になるところです。入院、宿泊療養施設入所者、自宅待機者の選別について、何を基準としているか市民に知らせてもらえないのか。

回 答

・新型コロナウイルス感染症患者の入院については、重症化リスクの高い方や医師が入院を必要と認める方を対象とし、医療提供体制を確保しているところです。
・入院治療の対象とならない方は、原則として宿泊施設での療養となりますが、宿泊療養施設に空きがない場合は、一時的に自宅待機となることもあります。
・患者の療養などにつきましては、今後も本市ホームページでの情報発信のほか、広報誌あさひばしなど様々な媒体や機会を捉え周知を図ってまいります。